

第3学年 美術科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
教科書	美術2・3上、美術2・3下(日本文教出版)
副教材	美術資料(秀学舎)

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 - 意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
- アイディアスケッチ - ワークシート - 授業の様子や発言内容 - 作品 - 定期テスト	- アイディアスケッチ - ワークシート - 授業の様子や発言内容 - 作品 - 定期テスト	- アイディアスケッチ - ワークシート - 授業の様子や発言内容 - 作品

3 学習についてのアドバイス

学 校	- 自分の感性や個性を大切にして、美術の活動に取り組みましょう。 - 主題を考え、1・2年生までに学習したことを活用して、制作に取り組みましょう。 - 主題をアイディアスケッチや文章に表現して、構想を練りましょう。 - 作品について感じたことを積極的に話し合いましょう。 - 鑑賞の学習では、作者の心情や表現の意図と工夫について考えましょう。
家 庭	- 生活の中で、「きれいだな」「すてきだな」「おもしろいな」と思った絵やデザイン、写真、形などをスケッチしたり写真に撮ったりしてアイディアを貯めておきましょう。 - いつも見ているもの、身近なものでも見る角度を変えると新しい発見があります。普段から「見方を変えて見る」ことをしてみましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な題材・教材等	主な学習目標
1 学 期	○オリエンテーション ・美を探し求めて ・夢をかたちにするデザイン ○私との対話（絵画） ○美術の歴史を見つめよう①（鑑賞）	3年生の美術科での学習内容を知り、3年間のまとめとしてどのようなものを制作していくか、これからの学習の見通しをもつ。 ○自分の姿や心の中を見つめて考えたこと、将来の夢などから主題を生み出し、構成や色彩、材料や用具の生かし方などを工夫して、創造的に絵や立体で表現する。 ○自分を見つめ自分の気持ちや性格、夢や思い出などについて考え、主題を生み出す。 ○主題を基に構図、色彩などを考え、自画像の構想を練る。 ○材料や用具表現方法を工夫して表現する。 ○作品を鑑賞し、作者の思いや意図、表現の工夫をなどについて考えを深める。 ○日本の美術の歴史を知り、作者の思いや工夫について考える。
2 学 期	○暮らしを心地よくするインテリア（工芸・デザイン） ○美術の歴史を見つめよう②（鑑賞）	○使う人や場所のことを考えた美しいデザインを鑑賞し、生活空間にもたらす変化や豊かさについて話し合う。 ○機能性と美しさや楽しさなどの視点から、形や色彩、材料などの効果を考え構想を練る。 ○材料や用具を生かし、耐久性や仕上りの美しさ、手順などを総合的に考えて制作する。 ○作品を使ったり飾ったりして鑑賞し、作者の意図や表現の工夫を感じ取り、暮らしを豊かにするデザインの働きについて、感じたことや思ったことをレポートにまとめる。 ○友だちの作品を鑑賞し、その思いや意図、表現の工夫を感じ取り、話し合う。 ○日本の美術の歴史を知り、作者の思いや工夫について考える。
3 学 期	○魅力が伝わるパッケージ（デザイン）	○パッケージデザインの働きについて考え、その工夫点について話し合う。 ○多くの人に製品の魅力が伝わるようなパッケージを発想し、形や色彩の効果などを考え構想を練る。 ○材料や用具の特性を生かし、制作の手順などを総合的に考え、見通しをもってパッケージのデザインをする。 ○作者の意図を考え、造形的な美しさなどを味わい、暮らしを豊かにするデザインについて話し合う。